

# ねっとわーく

## 市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- ・子どもたちに自然を守り愛する心を育む「ひろい海の活動」  
……福岡市姪北公民館
- ・鋳物の町復興に寄与する公民館講座  
……芦屋町中央公民館
- ・3R+C(コミュニティ)推進に関する取り組みのご紹介  
……大刀洗町ふれあいセンター
- ・「農業に役立つ天気予報の見方講座」  
……みやこ町中央公民館

### こちら県公連

- ・第67回福岡県公民館大会事業報告

令和4年11月 公民館情報通巻154号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575

福岡市博多区東公園7-7

福岡県教育庁教育振興部社会教育課内

TEL 092-643-3887

FAX 092-643-3889

## 特色ある公民館活動



福岡市姪北公民館



芦屋町中央公民館



大刀洗町ふれあいセンター



みやこ町中央公民館

## 子どもたちに自然を守り愛する心を育む「ひろい海の活動」

福岡市姪北公民館

### 【地域の概要及び経緯】

姪北校区は、人口 10,978 人、世帯数 6,110 戸（令和 4 年 6 月末現在）、平成 22 年に分離合併してできた校区です。旧唐津街道沿いに神社・仏閣、白壁や格子のある町並み、元寇防塁、小戸台場跡等の遺跡に加え、自然豊かな小戸公園があります。歴史や自然に彩られた町であると同時に、大規模商業施設や地下鉄姪浜駅を有した地域です。

### 【活動の経緯】

子どもたちが日頃できない体験を通して、校区の自然を活かす事業を模索していた時に、「海の学校」を設立された代表の方との出会いが始まりでした。

### 【活動の内容】

小学生を対象に、夏は「水中シュノーケリング」、秋は「アマモ場づくり」(アマモの苗づくり)を体験しながら身近な海の魅力と課題を考えます。特に「水中シュノーケリング体験」では、器具の基本操作を学び、ルールを守ること、仲間と協力することの大切さを学びます。体験終了後は、参加者全員で小戸海岸の「クリーンアップ活動」を行い、その後、この活動が「楽しかった！」だけで終わらないように、振り返り学習で、海をきれいにするために自分たちにできることを考えています。

また、野外での活動のため、悪天候により海での活動ができないこともあります。海のゴミを使った物づくりをする等、工夫しながら行っています。



水中シュノーケリングの様子



アマモの苗づくりの様子

### 【成果】

これまでアマモの群生地ではなかった小戸公園の藻場が、活動を始めた平成 27 年から令和 3 年までの期間に 350 m<sup>2</sup>まで増加しました。活動を継続して行うことで、魚の隠れ家が増え、海の環境改善に繋がっています。この活動に参加した子どもたちは、普段何気なく食べている魚や海藻等に感謝すること、海のゴミを出すのも減らすのも人であることを真剣に考えるようになりました。

### 【今後の展望】

この活動が、どこまでも続いている海のように広がり、子どもたちの宝物になること、また、現在は公民館事業として年に 2 回の活動ですが、有志によるグループができ、年間を通したクリーンアップ活動に発展していくことを期待しています。

【問合せ先】 福岡市姪北公民館

〒819-0002 福岡市西区姪の浜2-20-28

TEL 092-895-1076 FAX 092-895-1076

## 鋳物の町復興に寄与する公民館講座

芦屋町中央公民館

### 【地域の概要及び経緯】

芦屋町は、福岡県の北端に位置する町で、美しく豊かな自然のほか、古い歴史を持つ神社仏閣や文化財も多く、いにしへの芦屋町をしのばせます。芦屋町の歴史を代表するものに国の重要文化財に指定されている「芦屋釜」があげられ、芦屋釜の復興と茶の湯文化の振興をめざした「芦屋釜の里」や化石の時代から現代まで芦屋の歴史が丸ごと分かる「芦屋歴史の里」などの施設もあり、歴史と文化にふれることができる町です。

### 【活動内容】

令和4年度に中央公民館で初となる鋳物体験講座を開催しました。芦屋鋳物師（いもじ）を講師に迎え、芦屋釜の歴史や鋳物について学習した後、参加者が「古印」や「豆皿」を制作する鋳物づくりを実践しました。



古印づくり（錫を流し込んでいる様子）

「古印づくり」では、古い字体を調べ、素焼きの板に文字を描き、特製の彫刻刀で彫る作業を、また「豆皿づくり」では、皿型の板に溶かした土を筆を使って盛り付け、柄や文字を描く作業を行い、それぞれ異なる手法（彫る・盛る）で鋳型を作成しました。材料となる高熱で溶かした錫（すず）を、参加者が作成した鋳型に自ら流し込み、鋳型から外し紙やすりや特殊な棒での研磨作業を経て、世界でただ1つの作品が完成しました。



豆皿づくり（ベースとなる皿型の板）

地元で研究された芦屋釜の復興技術を原点に、芦屋鋳物師による初心者向け鋳物制作のきっかけづくり、歴史文化に寄与する学習機会の提供及び芦屋町のPRを行うことができました。

### 【成果と課題】

芦屋町ならではの体験型講座として、芦屋釜の魅力や鋳物づくりを町内外の人に発信することができました。また、芦屋釜の復興について、学習機会の提供ができました。

課題点は、限られた時間内の体験型講座で、より多くの人に知ってもらうために回数が必要であること。体験型の講座であると同時に、鋳物づくりに興味を持つグループ（同好会等）の発足につなげることです。

【問合せ先】 芦屋町中央公民館

〒807-0113 福岡県遠賀郡芦屋町中ノ浜4番4号

TEL 093-222-1681 FAX 093-223-5688

## 3R+C(コミュニティ)推進に関する取り組みのご紹介

大刀洗町ふれあいセンター

### 【地域の概要及び経緯】

本郷校区は、大刀洗町の南部に位置し、約 1500 世帯、4500 人が居住しています。大刀洗町は人口が増加傾向にあり、年々燃えるゴミの量が増加傾向にあるという課題がありました。そこで、ゴミの減量化やリサイクル率の推進を目的に、新たな資源回収拠点を設ける運びとなりました。その際、単純な資源回収のみを行うのではなく、地域住民のつながりづくりも含めた「3R+C(リデュース・リユース・リサイクル+コミュニティ)」という新たなテーマを設け、大刀洗町で最初の実証拠点として 2022 年 1 月より、本郷校区で MEGURU STATION®の取組が始まりました。

### 【活動内容】

本郷校区の地域活動の拠点である「ふれあいセンター(校区センター)」に MEGURU STATION®※を設置

※MEGURU STATION®とは

生ごみを含めた全 15 品目の資源回収を通じて、資源回収をきっかけにした地域コミュニティの醸成を目指す取組。

#### ■ 営業日

月曜日～土曜日(水曜・日曜は休み)

OPEN 時間：8：30～17：30

#### ■ 施設詳細

資源回収：透明な回収 BOX で 14 品目の資源を回収

生ごみ回収：小型の生ごみ処理装置(メタン菌による分解発酵処理)を通じて、生ごみをメタンガスと液肥に分解。メタンガスは火として利用可能で、液肥は利用者の皆様に無料で提供している。

その他：資源回収を通じたコミュニティづくりを目指す取組のため、椅子やテーブル、薪ストーブ(冬季限定)等があり、住民の皆さんが自由に交流できるスペースをつくっている。



【写真1：資源回収の様子】



【写真2：交流スペースの様子】

### 【成果と課題】

○地域住民の環境意識の高まりが感じられる。2022 年 2 月に実施した利用者を対象にしたアンケートでは、「ゴミや環境への関心は変わりましたか?」という質問に対し、74%の方が「高まった」と回答している。その他、子育て世代の来場者からは「子供がゲーム感覚で BOX に資源を投入しており、家でも分別の習慣ができてきた」という声も聞こえている。

○地域住民同士の新たな交流が生まれてきている。資源(ゴミ)出しは誰もが関係する日常の行為であるため、これまで校区センターを利用していなかった方々の利用も見られる。このことが、多世代交流が継続的に起こるきっかけに繋がっていくと考える。

●現在約 1500 世帯が居住する本郷校区で、利用されている世帯はまだ 350 世帯程度である。そのため、更なる利用者の増加、特に若い世代の利用者の増加が望まれる。

【問合せ先】 大刀洗町ふれあいセンター

〒830-1211 三井郡大刀洗町本郷2848-1

TEL 0942-23-2211 FAX 0942-23-2212

## 「農業に役立つ天気予報の見方講座」

みやこ町中央公民館

### 【地域の概要及び経緯】

みやこ町は、福岡県の北東部に位置し、東は行橋市と築上町、西は田川郡、南は大分県、北は北九州市と接しています。南側と北側の地域は急峻な山々に囲まれ、英彦山に源を発する今川・祓川、また、北部から源流を発する長峽川が町内を貫流し周防灘へと注いでいます。

総面積151.34km<sup>2</sup>のうち23.6km<sup>2</sup>が耕地となっており、平野部や河川沿いの谷筋では農業が盛んに行われており、農業との関りが密接な地域です。

このような状況から、農業に関する講座を開催したいと考え、また近年では気象の急激な変化から災害などが発生していることから、農業に役立つ天気予報の見方講座を開催しました。

### 【活動内容】

気象予報士の永田健太郎先生を迎え、農業に関連した天気予報の見方や、災害に対する事前の備え、災害時の対応についてご講義いただきました。

〈当日のメニュー〉

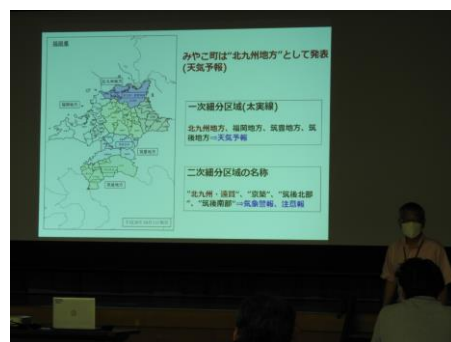
- ◇季節予報について
- ◇当日から明後日、1週間先までの気象情報
- ◇被害をもたらす気象災害
- ◇大雨災害から身を守ろう

講義では気象庁が発表する長期予報である季節予報の話や、天気予報の概要などクイズを交えながらお話しいただきました。また、災害に備えた対応など実例を交えてお話しいただきました。

### 【成果と課題】

参加者からは「今後の農業に生かしたい」、「天気予報の見方について勉強できて良かったと思う」、「災害時の対応について役立った」などの声が寄せられました。しかし「難しいと思うが外れない予報をお願いしたい」といった声も寄せられました。

今後も地域の特性や関心を視野に入れ、魅力的な公民館講座を開催し、地域に根差した公民館を目指していきたくと思います。



【講義の様子】

【問い合わせ先】 みやこ町中央公民館

〒824-0231 京都郡みやこ町犀川本庄641-1

TEL 0930-42-1365 FAX 0930-42-2512

## 第67回福岡県公民館大会報告

【県大会テーマ】『持続可能な地域づくりに向けて 公民館に求められるもの』  
～「つどう」「つながる」公民館活動～

### 1 概要

令和4年8月24日（水）、九州大学伊都キャンパス椎木講堂において、第67回福岡県公民館大会を3年ぶりに対面の形で実施しました。コロナ禍にも関わらず、県内各地から公民館に関わる402名の方々に御参加いただき、盛大に開催することができました。

本大会は、講師を招いての講演やパネルディスカッションをとおして、参加された皆様と共に本大会のテーマである「持続可能な地域づくりに向けて 公民館に求められるもの」について考え、今後の取組に生かしていただくことを目的に実施しました。

### 2 開会・記念式典

本大会でも、地元の高校生に司会進行をお願いしました。今回は、県立玄洋高等学校の放送部の三人です。大変聞き取りやすいアナウンスで大会をスムーズに進行していただきました。

大会式典の表彰式では、地域の公民館活動の振興に顕著な御功績があった35名の方々と1公民館に対し、福岡県公民館連合会から表彰を行いました。表彰を受けた皆様には、これまでの御尽力に対しまして、心から敬意を表します。



【表彰式の様子】

### 3 講演

「持続可能な地域づくりに向けて、公民館に求められるものとは」

九州共立大学 名誉教授 古市 勝也 氏

大会式典後、九州共立大学名誉教授の古市勝也氏から御講演をいただきました。

本年度は3年ぶりに様々な場で対面での研修が実施されつつあるということもあり、社会教育がこれまで大切にしてきたつながりづくりの価値について改めて確認できるお話をいただきました。

また、地域を取り巻く現状として、行政の様々な部署から社会教育や公民館に求められることが増えてきていることと、それに対して公民館がすべきことなどを熱く語っていただきました。

参加者の中にも、3年ぶりの対面での講話の中から、「公民館の役割を再確認できた」「当たり前前のことだが、つながりを大切にしていきたい」など、基本に立ち返り、コロナ禍の中でも公民館が培ってきたものを大切にしていこうという前向きな声も多数いただきました。



【講演の様子（古市 勝也 氏）】

#### 4 パネルディスカッション

テーマ「持続可能をめざした地域づくりに向けて 公民館に求められるものとは」

【コーディネーター】

九州共立大学 名誉教授 古市 勝也 氏

【パネリスト】

島根県益田市教育委員会 ひとづくり推進監 大畑 伸幸 氏

西益田公民館主事 石川 有里 氏

はじまりシェアハウス（学生版オンライン公民館）

九州大学教育学部 4年 和田 千夏 氏

九州大学教育学部 3年 日枝 幹登 氏

久留米工業大学建築・設備工学科 2年 野元 優理 氏

講演後のパネルディスカッションでは、古市勝也氏にコーディネートしていただきながら、「持続可能をめざした地域づくりに向けて公民館に求められるものとは」について、島根県益田市の大畑氏、石川氏、はじまりシェアハウス（学生版オンライン公民館）の和田氏、日枝氏、野元氏とともに考えていきました。

島根県益田市では、地域づくり、人づくりを子どもを中心に据えて行い、多世代の交流を図っていることの紹介がありました。

はじまりシェアハウス（学生版オンライン公民館）では、コロナ禍で、オンラインで行う学生生活を過ごす中で、人と人のつながりの在り方について考え、公民館のようなつながりを学生同士でつくろうとする新しい取組についての紹介がありました。

どちらの取組においても、人と人の「対話」を大切にし、つながりやすくするための仕組みについて考察されており、長年培っている益田市の実践の成果や、今からつながりを構築していこうという学生たちの熱い思いについて、参加者はディスカッションの中で感じ取ることができたようです。



#### 5 来年度に向けて

本大会を開催するに当たっては、特に、開催地区である糸島地区の皆様および九州大学の御尽力により盛会のうちに終えることができました。心より感謝いたします。

来年度は、北九州地区での開催を予定しております。参加された皆様からいただいたアンケートの結果等も参考にさせていただき、さらに実り多き大会となるよう改善に努めてまいりますので、今後とも公民館活動の充実・振興のために御協力いただきますよう、よろしくお願ひします。